

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月10日

上場会社名 バークレクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6193 URL <http://www.vx-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 栄樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 黒田 勝 TEL 03-3578-5300
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	2,999	16.0	172	—	200	—	148	—
2021年3月期第2四半期	2,584	△11.0	△26	—	△14	—	△25	—

（注）包括利益 2022年3月期第2四半期 360百万円（－％） 2021年3月期第2四半期 △26百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	51.42	51.14
2021年3月期第2四半期	△8.70	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	2,748	925	33.4
2021年3月期	2,581	552	21.4

（参考）自己資本 2022年3月期第2四半期 925百万円 2021年3月期 552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,150	9.2	300	82.0	320	76.3	240	117.0	85.71

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	2,945,453株	2021年3月期	2,943,453株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	64,572株	2021年3月期	64,572株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	2,879,795株	2021年3月期2Q	2,878,653株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が順調に増加したことなどから、景気回復の兆しも見え始めていましたが、変異株の感染拡大による緊急事態宣言再延長などもあり、経済・社会活動が引き続き制限され厳しい状況で推移しました。また世界経済においても、欧米を中心とした地域では経済の回復傾向は見られたものの、ワクチン接種の遅れている地域も多く、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループはテクノロジーを基盤として、バーチャレクス・コンサルティングはCRMをビジネスのドメインに、タイムインターメディアはWeb、文教・教育、AIなどをビジネスのフィールドとして、当社グループの持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を行ってきました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,999,459千円（前年同四半期16.0%増）、営業利益172,737千円（前年同四半期は営業損失26,267千円）、経常利益200,356千円（前年同四半期は経常損失14,439千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益148,080千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失25,041千円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

IT&コンサルティング事業は、前年同期は新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動が制限されるなど、売上は低調に推移していましたが、当期からは回復に転じ、大型コンサル案件など新規受注も順調に拡大推移していることから前年同期比で増収となりました。利益面でも売上増の要因に加えプロジェクト利益率の向上により、前年同期比で大幅に改善しました。その結果、売上高は1,722,968千円（前年同四半期32.7%増）、セグメント利益は308,021千円（前年同四半期99.2%増）となりました。

アウトソーシング事業は、一部の案件について引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、売上はほぼ前年同期並みで推移しています。利益面ではプロジェクト利益率の改善により前年同期比で増収となりました。その結果、売上高は1,276,491千円（前年同四半期0.8%減）、セグメント利益は248,819千円（前年同四半期30.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より166,856千円増加し、2,748,394千円となりました。これは主に、前連結会計年度末より、現金及び預金が161,606千円減少したものの、保有株式の新規上場により投資有価証券が319,890千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末より205,665千円減少し、1,822,926千円となりました。これは主に、長期、短期含む借入金が183,987千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益148,080千円を計上したこと、その他有価証券評価差額金が212,849千円増加したこと等により、前連結会計年度末より372,521千円増加し925,467千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末と比べ161,606千円減少し、四半期末残高は285,963千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は、33,654千円(前年同期は222,766千円の収入)であります。これは主に、税金等調整前四半期純利益が200,356千円、法人税等の支払額が119,218千円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、13,966千円(前年同期は85,386千円の支出)であります。これは主に、有形固定資産の取得による支出23,420千円、投資事業組合からの分配による収入18,184千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、181,294千円(前年同期は23,879千円の収入)であります。これは主に、短期借入金の減少額50,000千円、長期借入金の返済による支出133,987千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年10月4日の「業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、依然として新型コロナウイルス感染症の収束時期は不明なもの2022年3月期中は影響が継続する想定のもと、現時点で入手可能な情報や予測に基づき算定をしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	447,570	285,963
受取手形、売掛金及び契約資産	—	956,157
受取手形及び売掛金	785,635	—
開発事業未収入金	131,537	—
仕掛品	23,064	6,813
前払費用	85,103	90,868
その他	35,084	46,797
貸倒引当金	△18,029	△18,029
流動資産合計	1,489,966	1,368,572
固定資産		
有形固定資産	93,996	104,964
無形固定資産		
ソフトウェア	109,531	80,964
ソフトウェア仮勘定	65,649	78,430
その他	3,820	3,820
無形固定資産合計	179,002	163,215
投資その他の資産		
投資有価証券	513,285	833,175
その他	305,288	278,465
投資その他の資産合計	818,573	1,111,641
固定資産合計	1,091,572	1,379,822
資産合計	2,581,538	2,748,394
負債の部		
流動負債		
買掛金	143,742	103,186
短期借入金	200,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	140,176	106,852
未払金	235,636	167,827
未払費用	47,370	47,418
リース債務	1,807	1,807
未払法人税等	121,942	55,930
未払消費税等	117,984	77,908
未払事業所税	6,606	4,136
前受金	55,882	197,814
預り金	41,869	57,337
賞与引当金	181,126	165,068
受注損失引当金	36,815	12,342
その他	18	18
流動負債合計	1,330,979	1,147,650
固定負債		
長期借入金	683,610	582,947
繰延税金負債	—	79,913
その他	14,003	12,416
固定負債合計	697,613	675,276
負債合計	2,028,592	1,822,926

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,459	598,979
資本剰余金	302,013	302,533
利益剰余金	△302,725	△150,493
自己株式	△49,528	△49,528
株主資本合計	548,219	701,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,725	217,575
その他の包括利益累計額合計	4,725	217,575
新株予約権	—	6,400
純資産合計	552,945	925,467
負債純資産合計	2,581,538	2,748,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	2,584,681	2,999,459
売上原価	2,067,527	2,286,482
売上総利益	517,153	712,976
販売費及び一般管理費	543,421	540,239
営業利益又は営業損失(△)	△26,267	172,737
営業外収益		
受取利息及び配当金	72	78
助成金収入	5,385	749
投資事業組合運用益	5,829	30,978
役員報酬返納額	4,445	—
その他	1,106	686
営業外収益合計	16,839	32,492
営業外費用		
支払利息	3,364	3,056
支払手数料	1,442	1,442
その他	205	373
営業外費用合計	5,011	4,872
経常利益又は経常損失(△)	△14,439	200,356
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△14,439	200,356
法人税、住民税及び事業税	10,606	52,276
法人税等調整額	△4	—
法人税等合計	10,601	52,276
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,041	148,080
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,041	148,080

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,041	148,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,445	212,849
その他の包括利益合計	△1,445	212,849
四半期包括利益	△26,487	360,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,487	360,929
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△14,439	200,356
減価償却費	45,658	40,606
株式報酬費用	—	3,160
資産除去費用	511	504
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,601	△16,057
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△24,227	△24,472
受取利息及び受取配当金	△72	△78
支払利息	3,364	3,056
支払手数料	1,442	1,442
為替差損益(△は益)	205	357
投資事業組合運用損益(△は益)	△5,829	△30,978
売上債権の増減額(△は増加)	204,860	△38,984
開発事業未収入金の増減額(△は増加)	80,595	—
棚卸資産の増減額(△は増加)	△28,605	16,250
前払費用の増減額(△は増加)	2,895	△5,765
仕入債務の増減額(△は減少)	△39,970	△40,555
未払費用の増減額(△は減少)	10,417	△2,422
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,183	△40,075
前受金の増減額(△は減少)	46,020	141,932
預り金の増減額(△は減少)	820	15,467
その他	△45,274	△72,889
小計	226,790	150,854
利息及び配当金の受取額	0	78
利息の支払額	△3,332	△3,056
手数料の支払額	△1,442	△1,442
法人税等の支払額	△21,055	△119,218
法人税等の還付額	21,805	6,439
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,766	33,654
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,854	△23,420
無形固定資産の取得による支出	△58,585	△17,647
投資有価証券の取得による支出	△32,763	△308
投資有価証券の償還による収入	20,924	—
投資事業組合からの分配による収入	—	18,184
貸付けによる支出	△1,384	—
敷金及び保証金の差入による支出	△9,842	△3,519
敷金及び保証金の回収による収入	270	12,893
保険積立金の積立による支出	△149	△149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,386	△13,966
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	△50,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△74,533	△133,987
割賦債務の返済による支出	△683	△683
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△903	△903
株式の発行による収入	—	1,040
新株予約権の発行による収入	—	3,240
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,879	△181,294
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	161,259	△161,606
現金及び現金同等物の期首残高	208,740	447,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	369,999	285,963

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来受注制作のソフトウェア開発契約については進捗部分について成果の確実性が見込まれるものについて工事進行基準を、その他のものについては完成基準を適用しておりましたが、少額または短期のものを除き、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。なお、履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、履行義務の結果を合理的に測定できる場合は、見積総原価に対する実際原価の割合(インプット法)で算出しています。少額かつ短期の開発契約については完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は45,595千円増加し、売上原価は26,960千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ18,634千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は4,151千円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」及び「開発事業未収入金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,298,011	1,286,669	2,584,681	2,584,681
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,298,011	1,286,669	2,584,681	2,584,681
セグメント利益	154,624	190,151	344,776	344,776

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	344,776
全社費用(注)	△371,043
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△26,267

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,722,968	1,276,491	2,999,459	2,999,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,722,968	1,276,491	2,999,459	2,999,459
セグメント利益	308,021	248,819	556,841	556,841

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	556,841
全社費用(注)	△384,104
四半期連結損益計算書の営業利益	172,737

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。